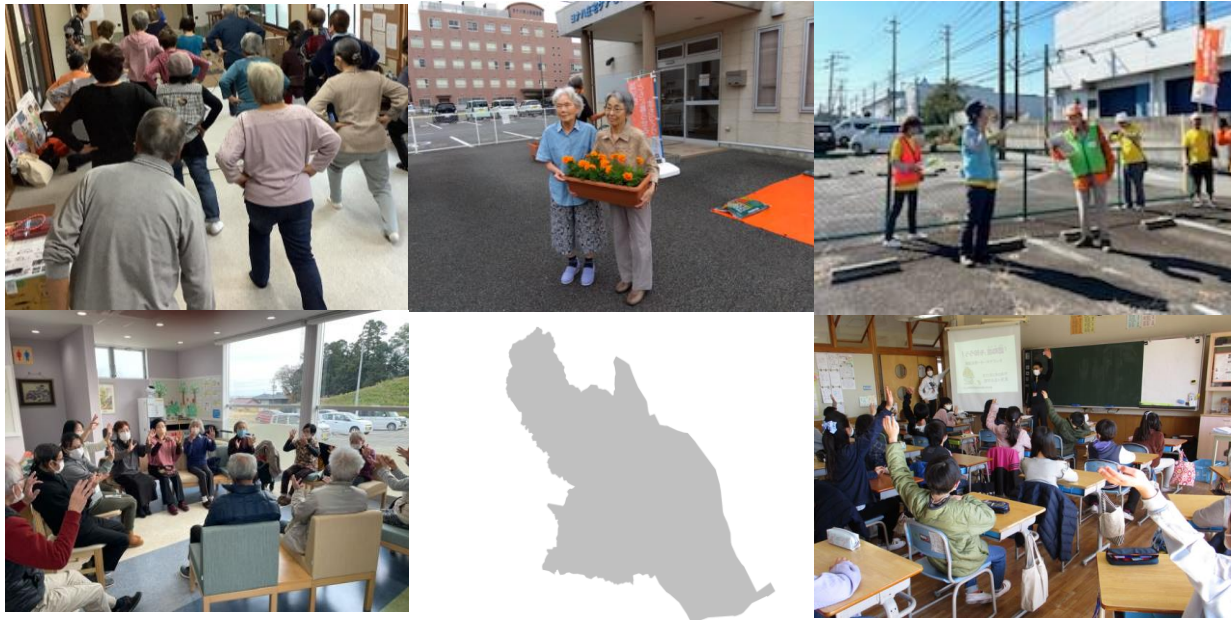


誰も取り残さない 地域包括ケアをめざして

～身寄りがなくても安心して暮らせる桑名市へ～



令和 7 年 2 月 12 日
令和 6 年度 桑名市地域包括支援センター 事業発表

桑名市地域包括支援センター「競争」から「協創」への転換



東部



西部



南部



北部西 (大山田)



北部西 (多度)



北部東

団塊世代が後期高齢者となる2025年を迎えて、超高齢者社会のステージは本番に突入。桑名市地域包括支援センターは、限られた人員のなかで最大限の事業効果を発揮できるように、組織の枠を超えて協力体制を構築し地域包括ケアシステムの深化・推進を図ってゆくことにした。



今回はじめて5包括が協力し事業発表をおこなうことになる²

1 地域包括ケアシステムと身寄り問題

顕在化する身寄り問題

身寄りのない高齢者が急増

65歳以上で配偶者や子など3親等以内の親族がいない高齢者が2050年には448万人となる見込み。これは高齢者の9人に1人が該当する。

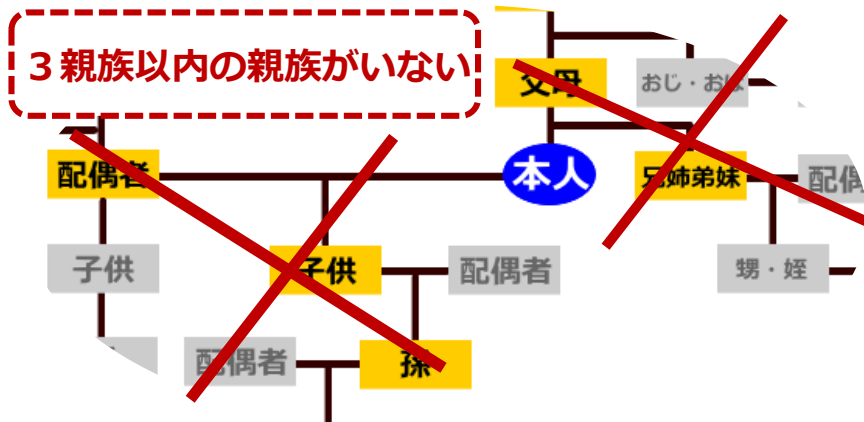
参考：日本総合研究所調査より

身寄りがないとは

身寄りがない人以外にも、以下の場合も想定されている

- ①家族や親族へ連絡がつかない状況にある人
- ②家族の支援が得られない人

参考：厚生労働省／身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン

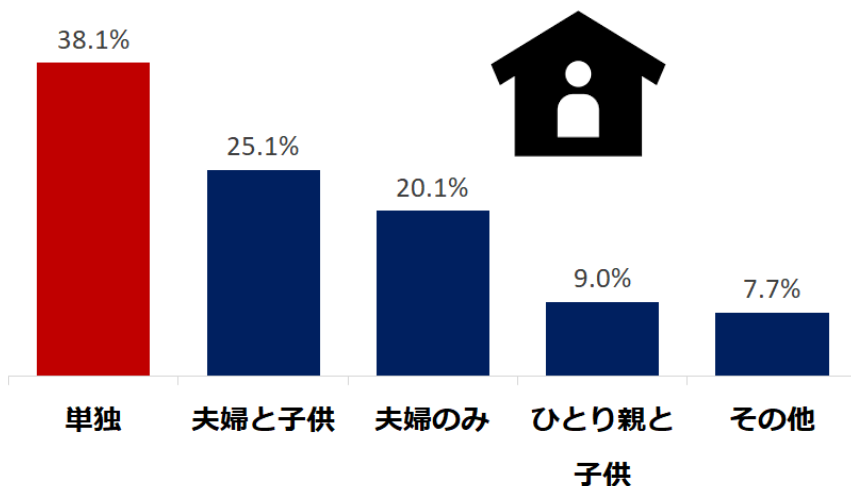


身寄り問題の本質は頼れる親族がいない現実にある

家族支援が当たり前ではない時代に

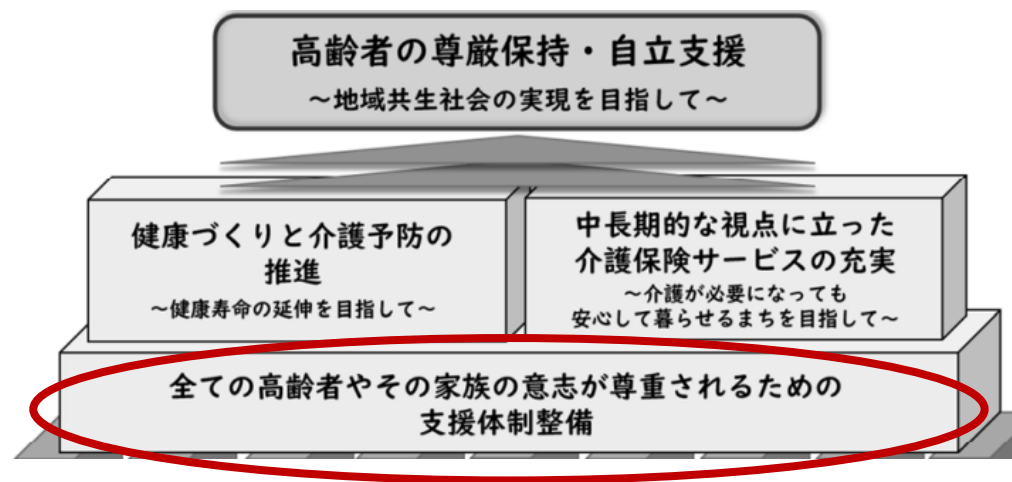
核家族化に単身世帯の増加や、生涯独身率の高まり等により、身寄りがいない又は身寄りがいても頼れる家族がいない人が増えている。

世帯の類型別割合



第9期桑名市地域包括ケア計画

「基本理念」の実現のため3つの基本目標が設定されている。しかし基本目標3の実現を阻む課題がいま出始めている。そのひとつが「身寄り問題」である。



高齢期に入ると多くの困難をもたらす身寄り問題

身寄り問題が抱える課題とは

地域包括ケアシステムの図から見る身寄りがない人の抱える課題



身寄り問題を抱える人は現在の地域包括ケアシステムでは生き辛い

データから見る桑名市の現状

ニーズ調査からの抽出

R5年度桑名市介護予防・日常生活圏域
ニーズ調査から以下の項目で抽出した
結果。



病気で数日で寝込んだ時に看病や世話を
してくれる人がいないと回答した方

502
名

日常生活での不安、悩み、心配事
で頼れる人がいないと回答した方

302
名



支援調整会議からの抽出

R6年度に開催した困難ケース等の支援
調整会議のなかで、身寄りがない又は
頼れる人がいないケースの割合。

$$\frac{31 \text{ 件}}{64 \text{ 件}} = 48\%$$



身寄りがないケースは支援体制や制度が整っていないため困難化しやすい

2. 事例から見る身寄り問題①

事例から見る身寄り問題①

脳出血で救急搬送、金銭管理や転院することに支障が出てきたケース



Aさん
74才男性

- ・ 単身世帯 四人きょうだいの長男
- ・ 婚姻歴はあり、子供なし、離婚し母親と同居していた
- ・ 母親が亡くなった時に、相続で
きょうだいとトラブルとなり、疎遠

飲食店駐車場で自家用車内で動けなくなっているところを
店員が見つけ、救急搬送。

失語症があり、意思疎通が難しい状況で入院先の病院から
地域包括支援センターへ連絡あり。

事例から見る身寄り問題①

経緯



- ・近隣者からの情報で連絡の取れたに姉に協力を依頼
- ・貴重品を医療機関で預かる



- ・片麻痺で失語症があり、回復の見込みがなく、成年後見制度市長申し立てを検討
- ・親族の意向調査を開始
- ・妹の夫に連絡を取ったところ、本人の預貯金で入院費が支払えるのなら支援したいと申し出



**本人の意思疎通が困難な場合、初期対応に時間を要する
本人に代わって金銭管理ができず、入院費の支払いができない**



身寄りのない方の課題

- 医療行為等への同意
- 本人の意思の尊重
- 緊急連絡先、身元引受人がない

考えられる方策

- 意思決定支援
- エンディングノート等の活用
- 民間身元保証会社 ？

- ペットの世話
- 入院中の自宅の管理（施錠、公共料金支払いなど）

- 「ペットホテル」の活用？
- だれが行う？

- 貴重品管理、入院費の支払い
- 入院ケアサポートセットの契約、支払い

- 成年後見制度の活用
- 日常生活自立支援事業の活用

医療ソーシャルワーカーとの連携・多機関協働が必要



結果

- ・本人の状態が少しずつ回復し、妹の夫の支援で銀行へ付き添い代理人申請ができた。
- ・本人の預貯金の中から、入院費の支払いができ、リハビリ病院に転院。
- ・発病前から、本人は妹の夫を頼っていたことが分かり、今後の支援を依頼できた。

身寄りのない方の課題

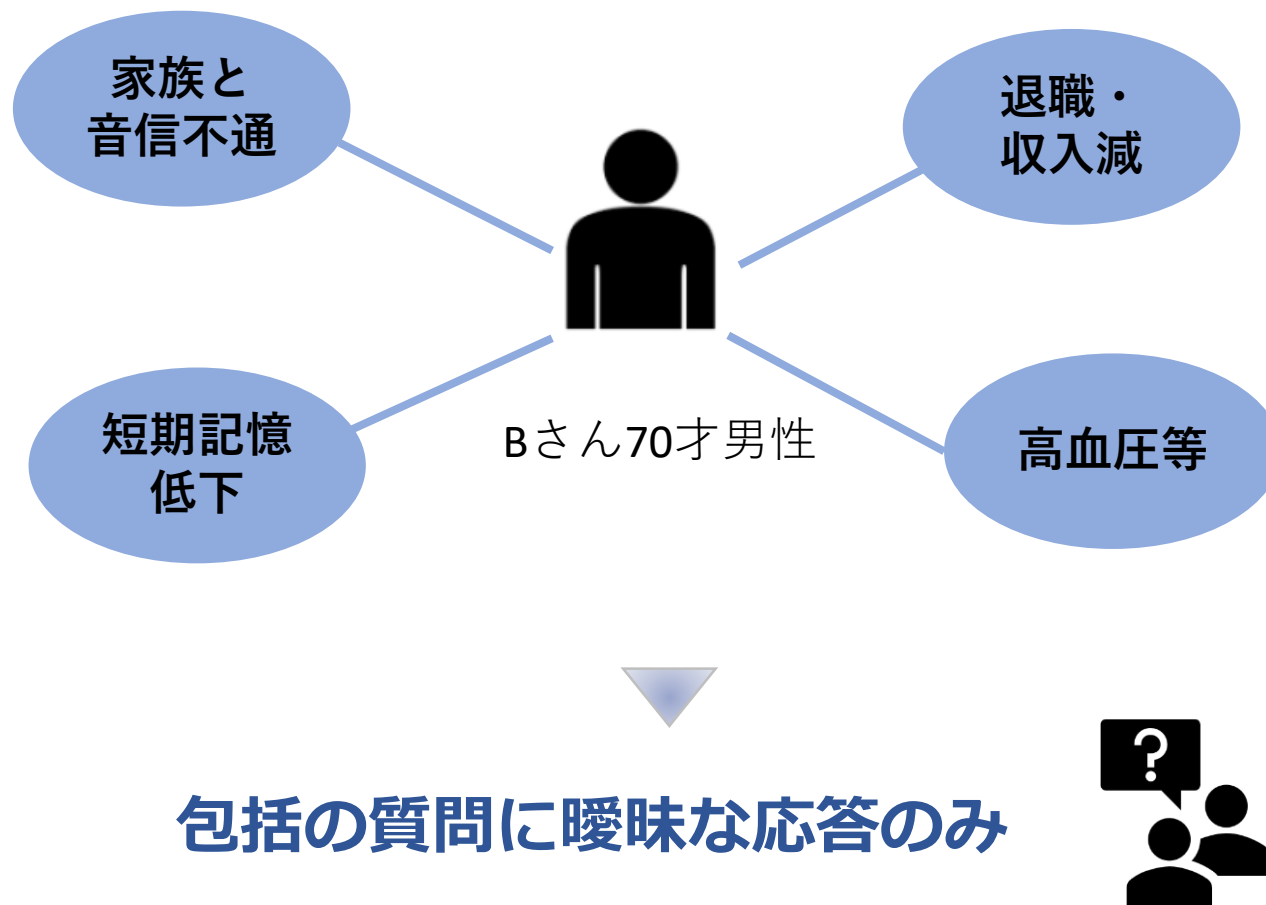
- ・緊急時に連絡先が明確でない場合、**初期対応に困り、時間を要する。**
- ・本人の意思疎通が困難な場合、金銭管理ができない。成年後見制度申し立てにも時間を要する。
- ・本来であれば、早期にリハビリ病院への転院が必要だったが、病院の支払いができないことで遅延した。
- ・発病前の家族の関係性が明確にわからないため、名乗り出た妹の夫の金銭管理が、**本人の権利を侵害しないか、判断が必要。**

**元気なころから、緊急時の連絡先を把握しておく
人生会議（ACP）を行い本人の意思を確認しておく**

3. 事例から見る身寄り問題 ②

事例から見る身寄り問題②

認知症になり、金銭管理や生活に支障が出てきたケース



事例から見る身寄り問題②

書類や携帯の履歴、上司から聞き取り分かったこと



Bさん

- ・ 借金がある
- ・ 受診を忘れる
- ・ 車がないと生活できない
- ・ 親族と連絡がつかない



身寄りのない認知症の方の課題

事例から見る身寄り問題②

身寄りのない認知症の方の課題

地域支援調整会議を開催し、解決に向けた検討、役割分担を行う



課題

➤ 金銭管理・借金返済

➤ 受診日を忘れ、病院に行けない

➤ 生活のサポートが必要
(施設入所するにも保証人がいない)



考えられる方策

➤ 日常生活自立支援事業・
法テラスの活用

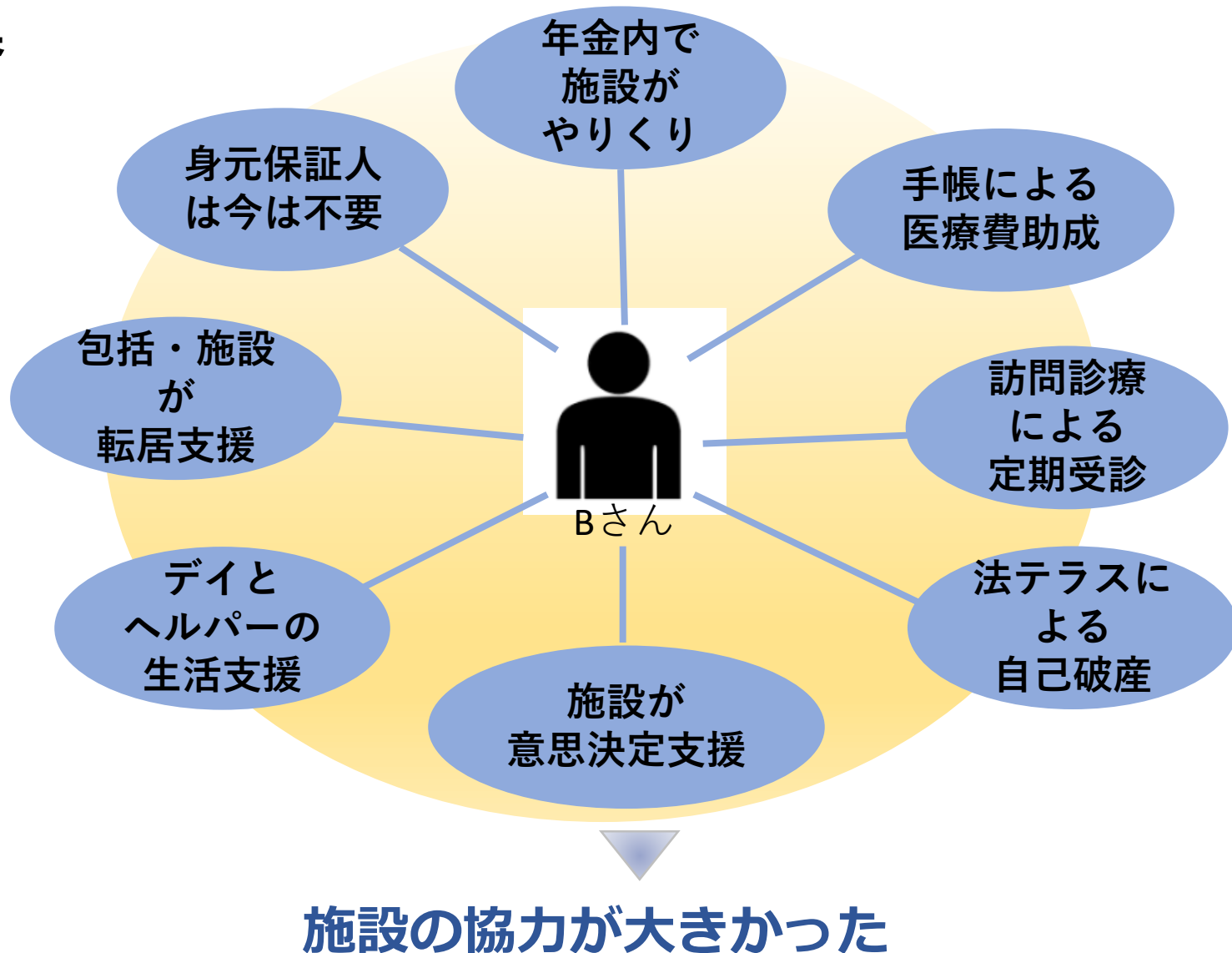
➤ 医療ソーシャルワーカーと連携

➤ 食料はフードバンクの活用
➤ 介護保険の申請
➤ 保証人不要の施設入所



多機関協働が必要

結果



4. 身寄り問題への取り組み

高齢者の状態像の変化と出来事のイメージ



在宅

入院

退院

入院

退院

急変

入院

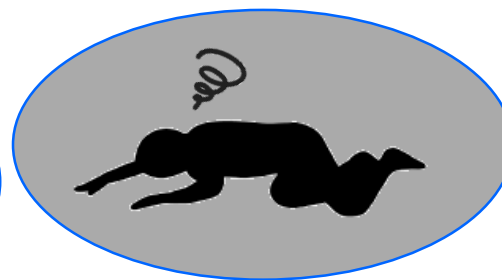
施設へ



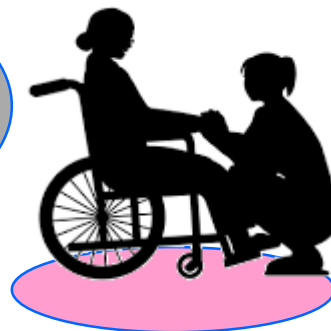
自立



体調の変化



在宅の限界



看取り

居住系施設×ケアマネ 交流会R6 / 10 / 22



あったかホーム
れんげの里

あんき苑
おいな苑

くわなWAC

ウエルフェア桑名

つきのこみち

グリーンホーム

プレステージ桑名

陽だまりの丘

すずらんの家
寿楽の家・たどの里
なごみの家

どうだん
満天星

ほほえみ
山の華

ハッピーヒルズ
陽だまりの丘

しらゆりケア

ひまわり
はりま

ハーモニーハウス
桑名

ケアタウン九華

スイートリビング
皆月

マ・ファミリー
わかば

桑名の杜
私ん家

ナーシング
桑名

エクセレント
桑名・多度

居宅系施設プレゼン－1



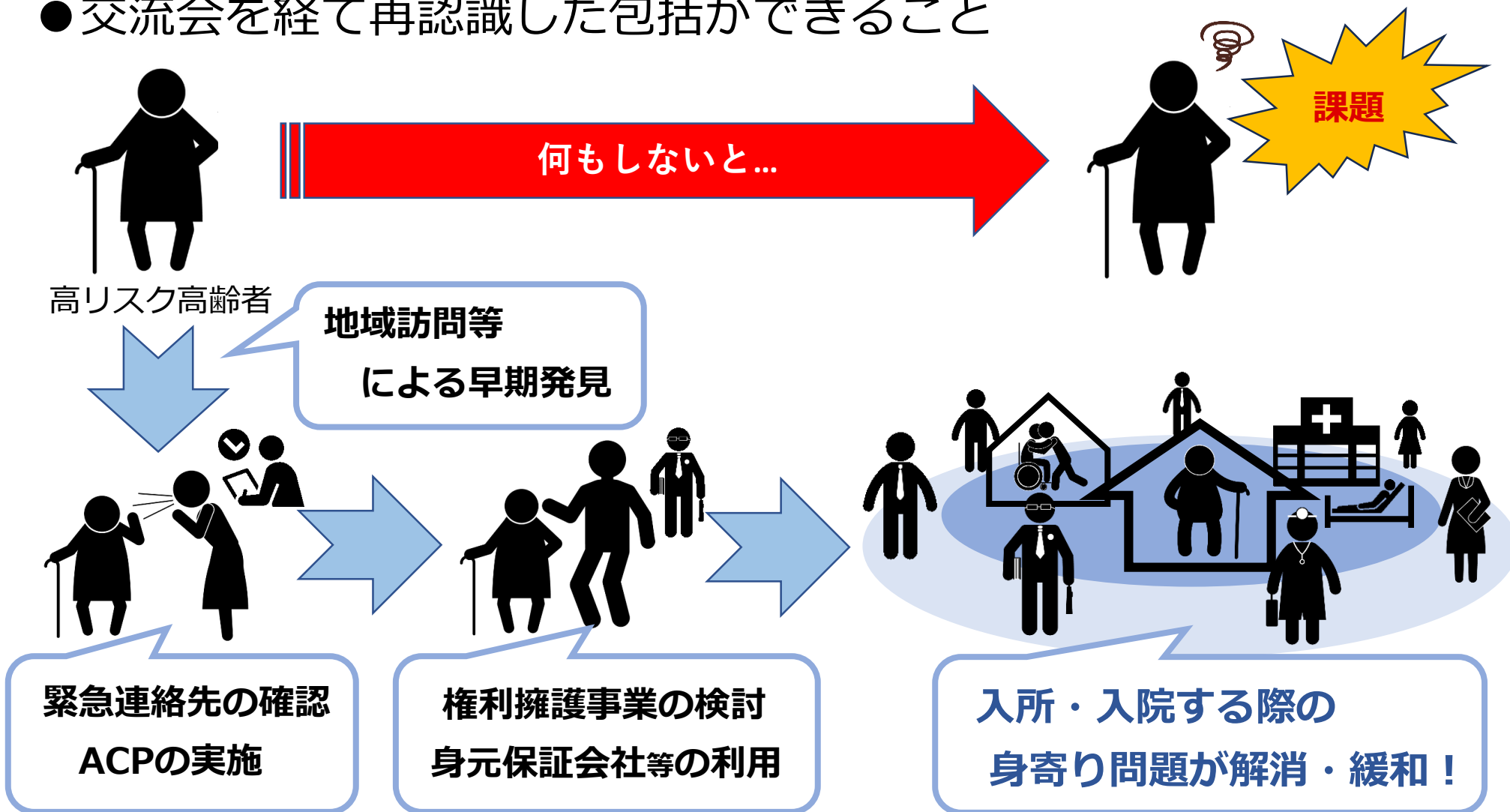
居宅系施設プレゼンター2



5 今後の方策と展望

地域包括ケアシステムから見る身寄りがない人の抱える課題

- 交流会を経て再認識した包括ができること



地域包括ケアシステムから見る身寄りがない人の抱える課題

- ①入院・入所時の**身元保証**、手術等の**医療同意**
- ②**連帯保証人**や**緊急連絡先**,**急変時**の対応 ③**意思決定**支援（認知症進行や終末期）
- ④**代行・管理**（支払いや手続き、金銭管理、ゴミ捨て、死後事務等）



●ケアマネ・施設・包括が行える方策を以てしても残る課題

- ・ どこかの機関が業務範囲以上のこと（**シャドーワーク**）をしなければならない
（①身元保証人無しの入院入所 ②緊急連絡先の登録 ④死後事務 等々）
- ・ 身寄りのない人への対応力が支援者に必要



更なる方策として..

●医療機関との連携強化等による対応力の向上

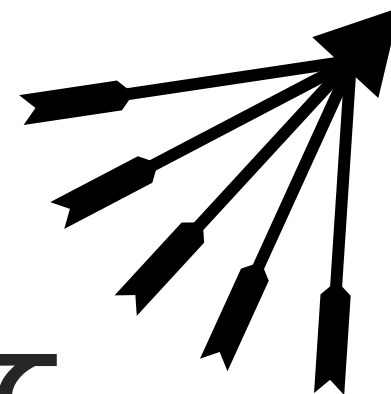
- ➡医療従事者と入退院時の業務範囲・方針等の情報共有等をして
更なる連携強化等をおこない、対応力を向上していく



●桑名市終活登録事業(仮称)【R7年度中の開始を検討】の普及・推進

誰も取り残さない

地域包括ケアをめざして



地域包括支援センターは

市民の皆さんと共に歩んでまいります